

事業番号	123
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	火葬場管理運営			担当課	環境課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度	平成25年度	担当係	生活係
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち				
	目標	③ 快適な生活環境をつくる（生活関連施設の整備）				
	成果指標		中間目標 (H27)		最終目標 (H32)	
予算区分	一般会計	4 款 衛生費	1 項 保健衛生費	3 目 環境衛生費		
	細事業	277 火葬場管理運営事業	278 新居斎場管理運営事業	279 斎場整備事業		
位置づけ	関連計画	なし				
	根拠法令	墓地埋葬等に関する法律・湖西市墓地等の経営の許可等に関する規則				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的（何のため）	適正な火葬業務及び施設維持管理並びに新居斎場の拡充					
内容（概要）	<p>【火葬業務及び施設維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶火葬業務 ▶火葬炉等の保守点検 <p>【新居斎場の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶斎場周辺道路の交通量調査を実施 ▶斎場進入道路の概略設計を作成 					
これまでの改善・見直しの状況	<p>【湖西市営火葬場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶昭和43年 開設（火葬棟・待合棟） ▶昭和62年 火葬炉入れ替え工事 ▶平成6年 待合棟新設 <p>【新居斎場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶平成15年 開設（火葬・待合棟） ▶平成18年 式場棟新設 <p>【新居斎場拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併以前 市営火葬場整備計画 合併以降 事業の効率的な運営、経費節減の観点から新居斎場への集約化を検討 					

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	219,414	77,756	82,323	(内訳)
	決算	61,247	57,311		
財源内訳	国庫支出金				物件費 50,943
	県支出金				維持補修費 3,985
	地方債				補助費等 304
	その他				普通建設事業費 2,079
	一般財源	61,247	57,311	82,323	57,311
職員人件費	16,670	15,250	13,950	人工	1.9 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

		内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
活動指標			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
実績・改善	平成23度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ▶市営火葬場及び新居斎場の火葬業務 ▶市営火葬場及び新居斎場の施設維持管理 ▶新居斎場増設にかかる調査調整業務 ▶斎場周辺の交通量調査 ▶斎場進入道路の概略設計 					
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> ▶新居斎場増設に関する地区との調整及び要望事項の対応 ▶斎場進入道路の検討 					
	どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> ▶地区からの要望に対し、実現可能な回答を検討した。 ▶斎場進入道路の検討にあたり、関係課と調整（整備箇所、規模等）を図った。 					
	改善点	<ul style="list-style-type: none"> ▶死体動物の火葬について、従来は回収場所に近い火葬場に搬入していたが、市営火葬場は燃費が悪いうえに、搬入の都度火葬するなど、効率が悪いので、極力新居斎場を利用することとした。（新居斎場は冷蔵庫を有しており、数頭たまった段階で火葬している） 					効果額 H24-H23 (千円)
自己評価	事業目的の達成状況	新居斎場の増設計画に関し、平成22年度の考えでは、平成23年度に新居斎場増設工事の実施設計を行う予定であったが、地区との調整不足により、1年予定が延びた。その後は順調に進んでいる。					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	火葬場の経営は、地方公共団体の基礎的行政サービスであり、事業の廃止は考えられない。また、新居斎場では、待機日数の増加、予約状況による利用の制限などの問題が発生しており、事業を廃止した場合、ますます市民にとって利便性の悪い施設となる。					
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市		
	判定理由	斎場及び火葬場は地域社会において必要不可欠な施設であり、新居斎場増設は市民の要望を反映させるものであるため、現行の内容で継続して実施することが望ましい。					
今後の方向性	新居斎場増設後においても、当面市営火葬場を稼働させるが、今後の両施設の利用状況の動向等を考慮し、新居斎場への集約化の時期を見極めていきたい。						